女性理系研究者の次世代育成に向けた裾野拡大への支援

AWAサポートセンター　特任講師　佐々木　由紀

あわサポ
AWAサポートセンター

令和6年度～11年度
文部科学省 科学技術人材育成費補助事業　「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ　女性リーダー育成型」 採択

文部科学省HPから

我が国における女性研究者の割合は、これまでの女性研究者支援に係る取組の結果、増加傾向にありますが、先進諸国に比べるといまだ低く、女性研究者の上位職登用もなかなか進んでいない状況にあります。

こうした中、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年9月4日法律第64号）」において、女性の個性と能力が十分に発揮できる社会を実現するため、国や地方公共団体、一般事業主の各主体における女性の活躍推進に関する責務等が定められています。また、第6期科学技術基本計画（令和3年3月閣議決定）、第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月閣議決定）において、女性研究者の新規採用割合等に関する目標や上位職登用に係る目標値が設定されています。

このような状況を背景として、研究と出産・育児等のライフイベントとの両立や女性研究者の研究力向上を通じたリーダー育成を一体的に推進するなど、研究環境のダイバーシティ実現に関する目標・計画を掲げ、優れた取組を実施する大学等を選定し、重点支援するため、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」を実施します。
「女性リーダー育成型」では、教授・准教授等の上位職への女性研究者の登用を推進するため、挑戦的・野心的な数値目標を掲げる大学等の優れた取組に対して補助します。

第5次男女共同参画基本計画より抜粋

第4分野　科学技術・学術における男女共同参画の推進

＜成果目標＞

項　目	第５次計画策定時	現　状	成果目標（期限）
大学の理工系の教員（講師以上）に占める女性の割合	理学系：8.0%、工学系：4.9%（2016年）	理学系：9.3% 工学系：6.7%（2022年）	**理学系：12.0%、工学系：9.0%（2025年）**
大学の研究者の採用に占める女性の割合	理学系：17.2%、工学系：11.0% 農学系：18.9%、医歯薬学系：25.3% 人文科学系：37.7%、社会科学系：25.8% （2018年）	理学系：19.9%、工学系：14.1% 農学系：29.7%、医歯薬学系：28.4% 人文科学系：41.2%、社会科学系：29.2% （2021年）	**理学系：20%、工学系：15% 農学系：30%、医歯薬学系：30% 人文科学系：45%、社会科学系：30% （2025年）**
大学（学部）の理工系の学生に占める女性の割合	理学部：27.9%、工学部：15.4% （2019年）	理学部：27.9%、工学部：16.1% （2023年）	**前年度以上（毎年度）**

５次計画における主な記載

○科学技術・学術分野における女性の参画拡大
男女双方に対する**研究と出産・育児、介護等との両立支援**や、**女性研究者の研究力向上及びリーダー経験の機会の付与**、**博士後期課程へ進学する女子学生への支援の充実**等を一体的に推進する、ダイバーシティ実現に取り組む大学等を支援する。

○男女の研究者・技術者が共に働き続けやすい研究環境の整備
博士の学位取得者で優れた研究能力を有する者が、**出産・育児による研究中断後、円滑に研究現場に復帰することができるよう支援**する。

○女子学生・生徒の理工系分野の選択促進及び理工系人材の育成
大学、研究機関、学術団体、企業等の協力の下、女子児童・生徒、保護者及び教員に対し、理工系選択のメリットに関する意識啓発、理工系分野の仕事内容、働き方及び理工系出身者のキャリアに関する理解を促すとともに、**無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の払拭に取り組み、女子生徒の理工系進路選択を促進**する。

12

徳島大学の目標

活躍する女性リーダーをはぐくむ四国・徳島大学に！
女性研究者の拡充に努めつつ、女性リーダーをはぐくみ、活躍を推進する国立大学を目指す。

数値目標
①教授に占める女性教員割合（8.3%）を17%以上に
②理事副学長に占める女性の割合（0.0%）を20%以上に
③教育研究評議会等の女性の割合（4.5%）を20%以上に
④幹部事務職員に占める女性の割合（22.7%）を30%以上
⑤女性教員比率（19.2%）を23%以上に
⑥女性教員科研費申請率を80%以上に
⑦えるぼし認定取得

取組目標と支援内容の一部紹介

プロジェクト1：
女性研究者の増加及び上位職登用を推進するとともに、教育研究評議会、研究戦略室等の意思決定機関に参画する女性を増やす

・上位職登用制度：
　徳島大学AWA（OUR）サポートシステム
　女性リーダー育成上位職登用プロジェクト

プロジェクト2：
研究力の向上を図り優れた研究成果の創出につなげ、女性研究者の活躍の場を広げる

・研究費支援制度：
　共同研究・推進戦略研究助成金
　復帰・復職支援スタートアップ助成
　リケジョ育成環境整備研究助成
・各種支援制度：
　国際論文英文校閲費、国際論文投稿費支援
　学会参加費支援・海外派遣旅費助成
・女性研究者顕彰制度：
　徳島大学ライジングイノベーターアワード
・研究力伸長セミナー：
　英語論文セミナー・統計セミナー
・研究交流発表会：
　各種支援を受けた研究者の研究紹介や研究成果発表を通じた交流

プロジェクト3：　研究と生活の調和を図る

・研究支援員制度：
　仕事と治療の両立支援員制度
・幼児・学童一時預かり保育：
　夏休み・冬休み徳島大学Kids Club
　大学入試時等の一時預かり保育
・病児・病後児・緊急保育制度・介助支援制度
・家事や育児・介護・防災などのセミナー
・よこのつながりあわさぽサロン

■数値目標の達成状況

項目	2024（R6）年度目標	2025（R7）年3月31日　現在	2029（R11）年度目標
①教授の割合	9.8%	9.0% （0.8pt↓）	17%以上
②理事・副学長の割合	12.5%	14.3% （1.8pt↑）	20%以上
③教育研究評議会等の割合	－ ※	7.4%	20%以上
④幹部事務職員	－ ※	27.9%	30%以上
⑤女性教員比率	20.4%	21.1% （0.7pt↑）	23%以上
⑥科研費申請率	－ ※ ※年度毎の目標は設定なし	58.2%	80%以上

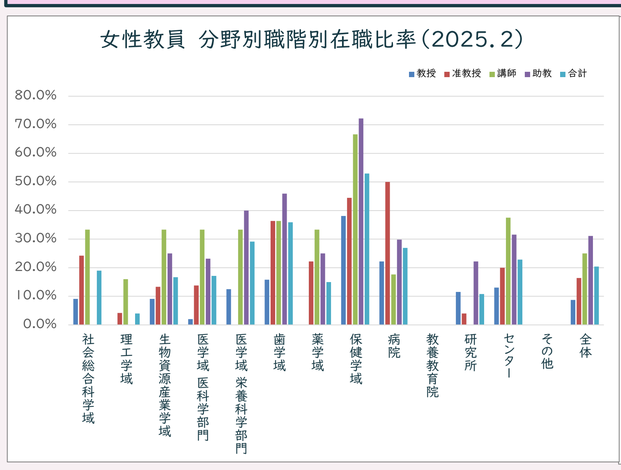
理工系分野における女性の参画が重要である理由は大きく分けて二つある。

現代日本において、理工系分野における女性の存在はますます重要となっている。科学技術の進歩は我々の生活を日々大きく変化させており、そうした技術革新に携わる人物は、多様であることが求められる。しかし、現実には依然として理工系分野における女性の参画は少ないという現状がある。（略）
理工系分野における女性の参画が重要である理由は大きく分けて二つある。第一は、性別に関係なく多様な才能やアイデアを持つ人々が活躍することで、イノベーションや創造性が発揮され、新しいアイデアが生まれる可能性が高まることである。異なる視点や経験を持つ人々が集まり、協力して問題解決に取り組むことで、より効果的な解決策を導くことに繋がり、科学技術へのさらなる革新的な成果が期待できる。
第二は、理工系分野で活躍する女性が増えることは、将来の女子生徒にとってのロールモデルが増えることでもあり、次の世代での女性の参画につながる。身近にそのような女性がいることで、自分自身のキャリアパスについて、一定の視座を得られるきっかけとなる。
しかしながら、現実には女性の理工系分野への進路選択には障壁がまだ存在している。性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）やキャリアと家庭の両立の大変さなど、さまざまな要因が女性の進路選択を制限している。（略）

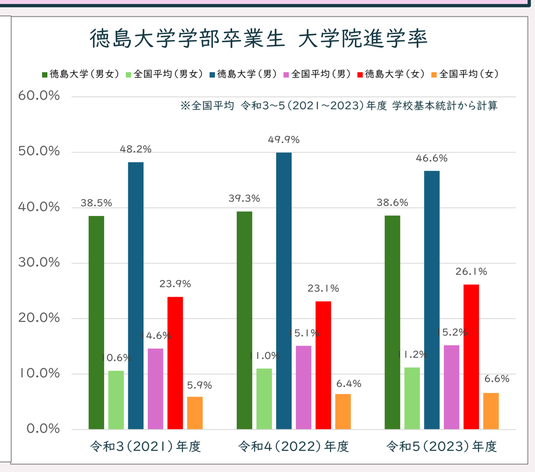
引用：内閣府男女共同参画局
令和5年度　理工系分野進学後の女性のキャリアパスに関する事例についての調査研究

徳島大学の場合

女性教員　分野別職階別在職比率（2025.2）



徳島大学学部卒業生　大学院進学率



徳島大学における女性研究者（教員）の割合は、これまでの学内における様々な取組の結果、全国と同様に増加傾向にあるが、いまだ女性教員の在職比率が低い分野も多い。

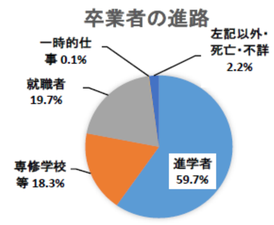
徳島大学は学部生の大学院への進学率が高い。
男子学生の進学率約50%（全国平均の約3倍）
女子学生の進学率約25%（全国平均の約4倍）

大学院（博士後期課程）への進学を後押しする支援
徳島大学の女性研究者の層を底上げする支援

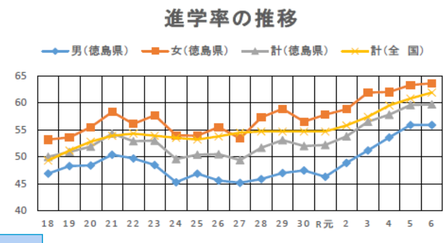
徳島県内　高等学校卒業生の場合

徳島県における高等学校卒業後の進路状況調査

卒業者の進路



進学率の推移



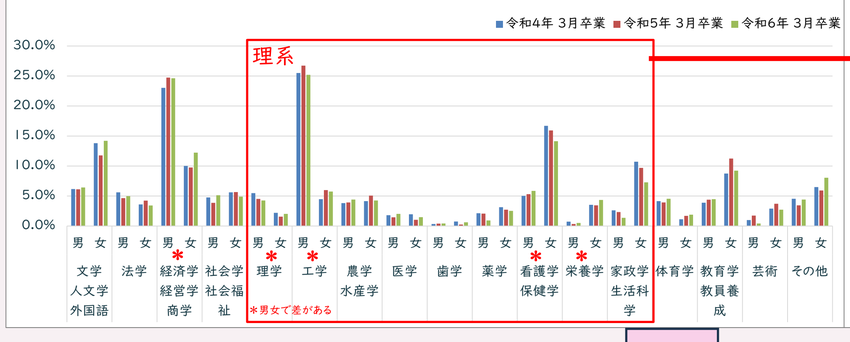
女子学生の進学率が高い

上下グラフと数値　引用
令和4～6 年度教育調査報告書 徳島県教育委員会教育創生課

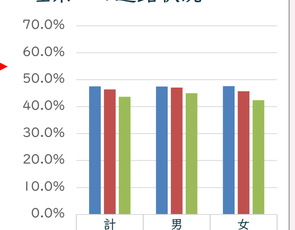
徳島県においては理系への進路状況において男女差はない。

理系区分において女子学生は、男子学生よりも（薬学）・看護学・保健学・栄養学・家政学・生活科学を進学先に選択している。
農学・水産学・医学・歯学は男女差がない。
徳島県の多くの女子学生は理工系をあえては選択していない。

徳島県における高等学校卒業生の大学進路状況



理系への進路状況



	計	男	女
令和4年 3月卒業	47.5%	47.5%	47.6%
令和5年 3月卒業	46.4%	47.1%	45.7%
令和6年 3月卒業	43.7%	45.0%	42.4%

理工系次世代女性研究者チーム J-SWEET の活動支援

理工系女性研究者の育成を目的に、2020年女子学生により創設された。
自らが機会を作り出し、研究にとどまらず人脈を広げ、自身のキャリア形成や後進の育成・裾野拡大を目指す。
2025年5月16日に6期生が学長から任命された。

6期生の任命式の様子

日亜化学工業会社見学と女性技術者との交流会

大阪公立大学IRIS・岩手大学工学GIRLsとの交流会

NTT東日本キャリア講演会(男子学生も対象)と社員と女子学生との座談会

出張サイエンスキャンパス

理工学部オープンキャンパス
リケジョブース

理工系進路の魅力を発信し裾野拡大支援

ご協力ください！

サイエンスキャンパス2025
将来理工系で学ぶこと、働くことの意義や理工系進学の多様性について理解を深める

2025年12月14日(日)　10:00～14:00（予定）
@フューチャーセンター

① キャリア講演会：科学・技術の分野で研究や開発を行っている女性から学生時代や現在の生活・仕事のことなど理工系進学の魅力についてお話を伺う。
②-1　中高生：実験体験
科学実験にとりくみ、その意味や結果について一緒に考察する。
日亜化学・四国電力・その地元企業とコラボレーションあり
②-2 保護者：進路・就職相談会
理工系進学について、大学生活や就職についてなど、保護者の持つ疑問について教員や企業関係者が一緒に考え、お答えする。
③ 交流会：技術者や先輩と中高生の交流会

今年のサイエンスキャンパスは保護者を巻き込む!!